

3 5歳児の発達の特徴と指導のポイント、保護者との連携

○ 5歳児の発達の特徴

一番大きなクラスになれてうれしい！

前年度末に一つ上だった年長さんを見送り、自分たちが園の中で一番大きなお兄さん、お姉さんになったことは無条件で喜ばしいことです。何事にも意欲をもって取り組む姿が見られるようになります。その自信から年長児として、下の年齢の子供たちを思いやり、いたわるようになります。

動いて元気

目と手と体の全ての部位が、自由に動かせるようになり、複合応用運動ができます。運動機能の発達により、全身を巧みに使いながら様々な遊びに挑戦して活発に遊ぶようになります。

元気な体

基本的な生活習慣が自立し、見通しをもって自ら健康で安全な生活を楽しむようになります。また、食に関わる体験を通して食への理解が深まり、食べることを楽しめるようになります。

みんな仲間

友達と共通の目的や課題をもって、互いに刺激し合ったり、アイデアを出し合ったりして活動するようになってきます。また活動を進める中で、互いに応援し合ったり、相手のよさを知ったりして仲間意識も芽生えていきます。反面友達との関係がうまくいかないと不安定になるなど、友達関係に左右されることも見られます。

友達と力を合わせよう！

友達の言葉に耳を傾けたり、共感したり意見を伝え合ったりして、共通のイメージや目的意識をもって素材や用具を適切に使い、共同で様々な表現をするようになります。

自分で作ったよ

生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむようになります。

聞きたいな、友達の話

自分の課題に主体的に取り組み、やり遂げた喜びを味わうようになります。

自分の思いや考えを相手に分かるように話すと同時に、話を聞く楽しさや必要性を感じて、人の話を聞くことができるようになります。

みんな命があるんだね

動植物の飼育栽培など、様々な環境に関わる中で、友達の違う考えに触れて新しい考えを生み出したり、命の大切さが分かったりするようになります。

もっと知りたい！

日常生活の中で、文字や数量や図形、簡単な標識や時間、身近な社会事象に関心を持ち、自分たちの遊びや生活に取り入れて遊びます。様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね遊びが発展していきます。

○ 指導のポイント

5歳児は進級時から修了時までの1年間を、アプローチ期として、多くの経験を積み重ねていきます。

それぞれの時期に応じた発達の姿を捉え、成長に必要な経験を得られるようにしていくことが求められます。アプローチ期前期では、保育者は、幼児が興味をもったことに試行錯誤しながら取り組む姿を受け止め、一人一人の幼児の表現や取組を十分価値付けて、それが学級(クラス)集団の中で響き合うような場を作ることが大切です。アプローチ期後期では、協同的に取り組む活動が増える中で、さらに幼児同士が互いのよさや特性を認め合える場や機会を作り出すようにします。温かな集団作りを心掛け、その中で個々の幼児が自信をもって、入学への期待を高めていけるようにしましょう。

生活

見通しをもって園生活を送ることができるように、環境を工夫します。一日の生活やさらに先の行事や活動についても「あと〇〇日」と見通しをもってみんなで取り組めるような情報環境を用意します。

季節や気温の変化について幼児の関心を高め、幼児が自ら衣服の調節をできるように働き掛けます。

体を動かすことを楽しめるように、いろいろな運動遊びやルールのある遊びを繰り返し行い、幼児だけで進めていけるようにします。

人とのかかわり

保育者は一人一人の幼児との信頼関係を築きながら、幼児のよさを受け止め、互いに認め合える学級(クラス)作りを心掛けます。

遊びや活動を進める中で、幼児同士の思いがぶつかり合うときは、保育者は両者の気持ちを引き出したり、意見を整理したりすることで幼児同士の折り合いの付け方や、話合いの進め方を身に付けられるようにします。

共通の目的に向かって活動に取り組む中で、互いを応援したり、友達のよさを知ったりしながら、仲間意識を育てていくようにします。

学 び

自分の課題に主体的に取り組み、やり遂げた喜びを味わえるように、取組を支えていきます。自己課題を達成したことで、自分に自信をもてるようにします。

自分の思いや考えを相手に分かるように話したり、言葉でない方法でも表すようにしたりして、「伝わる」喜びを味わえるようにします。

文字、数への興味、関心が高まるように、園内、室内の環境を工夫します。生活や遊びの中で標識や文字などに触れることで、自分から文字や記号などを用いることを楽しめるようにしていきます。

4～5月

- ・進級の喜びを共有しつつ、1年間の教育活動を理解し見通しをもてるようにしましょう。
- ・子供の発達や育ちを伝え、就学前教育や家庭教育の大切さを理解していただけるようにしましょう。
- ・園での様子や家庭での様子を伝え合える信頼関係を築きながら、園と協力して子育てしていくことの大切さを伝えていきましょう。

保護者との連携

6～9月

- ・安全にプール遊びができるように健康状態の連絡方法を確認しましょう。また、プールの支度などを自分で準備できるように伝え「自分でしようとする」意欲を育てていく大切さを伝えましょう。
- ・園便り・クラス便りなどで朝食の必要性や規則正しい生活を送ることの大切さを伝え、夏を健康に過ごせるようにしましょう。
- ・緊急時の引き渡し訓練の趣旨や方法について、保護者に理解してもらい確認しましょう。

10～12月

- ・運動会への取組や、体を動かす遊びの様子を保護者に伝え、運動会に向かう活動のねらいを伝えましょう。
- ・幼児期の表現や、子供が自分の力で作ることの大切さ等、一人一人の成長を伝え共感していきましょう。
- ・就学時健診について園からも知らせ、保護者が忘れないようにしたり子供に安心感をもたせたりしましょう。

1～3月

- ・感染症にかからないように予防の方法や、かかってしまったときの対応を保健だよりなどで具体的に伝えましょう。
- ・小学校就学に向けて期待すると同時に、不安に思うことなどもでてくるので、いつでも相談できるような雰囲気大切にしましょう。
- ・保護者と共に子供たちの成長を喜び合い、親子共々安心して就学を迎えられるようにしましょう。

I 期 (4~5月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心をもち、自ら考え、豊かに表現する子供
---------------	------------------------------	--

期の ねらい	生 ・進級の喜びを味わい、自分でできることは進んでしようとする 人 ・異年齢や新入園児、前年度5歳児との関わりを楽しむ 学 ・みんなで遊ぶ楽しさを味わい、クラスとのつながりを感じる 学 ・新しい環境の中で、自分が興味・関心をもったことに進んで取り組む
-----------	--

		《経験の内容》 主な活動例	保育教育資料
3 つ の か か わ り の 柱	生 活	《進級の喜びを感じ新しい生活環境を作っていくように》 ・保育室の環境を保育者と一緒に作る 道具や用具、教材などの置き場所を決める 自分のマークを決め、名札を作る ・所持品の収納場所(靴箱・ロッカー・引き出し・タオル掛け等)に付けて、自分の場を知る ・前年度5歳児から引き継いだ動植物の世話等の当番活動、朝の会 ・自分から進んで挨拶をする ・登園、降園時に年下の新入園児等を手伝い、園内の場所や生活に必要な所持品の始末などを教える ・園庭やホールなどで共有の遊具や用具の片付けを進んで行う(片付けパトロール隊) ・園行事等を進める準備(入園式の手伝い、誕生会の司会等) 《思い切り体を動かして十分に遊びを楽しむように》 ・雲梯、登り棒、高さへの挑戦、巧技台、助け鬼、手つなぎ鬼、色鬼、鉄棒、ボール遊び ・好きな遊びを見つけて、周囲のものを取り込みながら十分楽しむ ・これまでに経験したことのある遊びを再現して遊ぶ いろいろなごっこ遊び 制作遊び 砂場 《春から初夏へ自然環境の変化に気付くように》 ・衣服の調節や汗の始末、陽光や風の様子など日常生活の中で感じる 《自分たちで楽しく生活できる環境を作るように》 ・生活グループの名前を決める ・当番表の作成 ・当番の内容ややり方などを知る ・大型積み木や巧技台の使い方を知る ・物の置き場所や遊具の使い方を相談して決める ・製作スペースや絵本のコーナーなどを作る ・製作物を飾る棚や壁面、製作途中の物を置くスペースなどを作ったり、決めたりする	
	人 と の か か わ り	《年少児や修了児、身近な人々、地域の人々との触れ合いを楽しみ親しみを感じるように》 ・年少児の様子を見たり世話をしたりしながら相手の思いを察しようとする 話し掛ける・聞く ・5年生との交流で小学生へ憧れをもつ ・あいさつ運動でお世話になる町会の人やお祭りに参加する保護者に親しみをもって進んで挨拶をする 《新入園児(年少、同年齢)と一緒に遊び、自分の気持ちを伝えようとしたり、相手の気持ちを察ししたりするように》 ・年少児=花壇への水やり・飼育物を一緒に見る 金魚のエサやり等 同年齢=挨拶をしたり話し掛けたりする 《みんなで遊ぶ楽しさを味わい、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりクラスとのつながりを感じるように》 ・場面に応じて必要な言葉を使う ・相手の思いに気付いて言葉を掛ける「どうしたの?一緒にしようよ」等 ・砂場遊び(団子作り・山、川作り、ダム作り) ・猛獣狩りゲーム ・じゃんけん汽車 ・大型積み木や巧技台 ・転がしドッジボール ・グループじゃんけん ・椅子取りゲーム ・体操する ・グループでこいのぼりを作る ・「友達になるために」畑のポルカ 「世界中の子供たちが」歌えばんばん 《相手に対応して動いたり、触れ合ったりする楽しさを感じられるように》 ・ダンス「トレロカモミロ」「ラウンドチェーン」「あははのおばけ」「よろしくね」	
	学 び	《いろいろな素材に触れ自分なりに試したり工夫したりするように》 ・カラービニールや紙、布、サーフェル紙等 ・空き箱制作 ・ごっこ遊びに必要なもの 《イメージや言葉を豊かにするように》 ・自分の気持ちを人の前で言葉で伝えようとする ・いろいろな体験で感じたことを言葉で表現する ・相手の気持ちを察しようとして言葉を掛ける ・十分に表せない幼児には保育者が補ったり、クラスの幼児が考えたりして友達の表したいことをクラス全体で分かり合えるようにする 《話を理解しイメージを広げて楽しむように》 ・「いやいやえん」「おしおいのぼうけん」「じごくのそうべえ」「こずすめのぼうけん」「ほく だんごむし」「わんぱくだんシリーズ」 《自然に触れ、考えたり、試したり、遊びに取り入れたりするように》 ・苗植え、種まき、水やり、花びら、ダンゴ虫、雑草、蝶の幼虫、野菜(豆やイチゴ等)の収穫 《友達とのやりとりを楽しむように》 ・いろいろなごっこ遊び・グループの名前を決める・グループでこいのぼりを作る 《遊びや生活の中で、色、数量、図形、形、文字等に興味・関心がもてるように》 ・こいのぼり作りの中でいろいろな色、形、数等や新しい素材に触れる ・遊びを進める中で、必要に応じて文字を読んだり、書いたりする ・身近にある標識や記号などを意識したり、調べたりしながら考えたり人の話を聞いたりする 「ざりがに」 図鑑(動物・植物)	

ラ ム で 重 視 す る 取 組 内 容	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる ・どうしたらよいか考える中で友達の思いに気付いたり自分の考えを伝えたりする ・相手の表情や態度に関心をもち思いを察しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳時に経験したことをクラスで繰り返しながらかつながりを感じ、クラスの一員としての気持ちや自分たちの成長を感じたりする ・前年度5歳児の当番を引き継ぎ、責任とうれしさを感じて進んで取り組もうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備や片付けなどを自分から行う ・野菜の栽培をする中で、生長に気付き、自分の体や食物に関心をもつ ・弁当や給食を作ってくれた人への感謝の気持ちをもつ ・箸を正しく使い食事の時の声の大きさやマナーに注意して食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いきり体を動かして遊んだり、自分の力を試したりする ・進んで戸外に出て友達と体を動かして遊ぶ心地よさを感じる ・今までの遊びをしたり新しい遊びに挑戦したりする

幼児期に育みたい資質・能力
知識及び技能の基礎
思考力・判断力・表現力等の基礎
学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

アプローチカリ
キュラムで大切に
したい活動のポイ
ント

- 生
人
学
- ・進んで活動に取り組むことで子供が成長を実感できる活動
 - ・身近な人々や友達と触れ合いながら共感したり、親しんだりできる活動
 - ・新しい環境に興味をもって取り組む活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・年長児になった喜びを味わい、新しい生活の場を必要に応じて保育者と共に作り、安心して過ごせるようにする①②
- ・新しい生活の環境に自分の所持品の収納の場が位置付いていくことで、整理整頓にも意識がもてるようにする②
- ・自分のできることをやっていこうという気持ちを認め、いろいろな場面で「自分で決めた」という思いを実感できるようにする①②
- ・新しい環境に緊張感をもつ幼児もいるので、場や時間にゆとりをもたせて設定し、生活の流れに沿って伸び伸びと安定して過ごせるようにする①
- ・しっかりと挨拶する心地よさを感じられるように、保育者から積極的に幼児や保護者に挨拶し、親しんでいく④⑨
- ・生活や遊びのきまりを確認し、話し合っただけのことなどは、絵や図、文字などで分かりやすく知らせていく③④⑧
- ・健康で衛生に気を付けた生活に関心を向けていけるように、トイレや身の回りの始末等きめ細かな指導を重ねる①②
- ・新しい遊具の遊び方や片付け方が分かるような機会や場を作り、自分たちなりに環境に関わっていく楽しさが感じられるようにする①③

- ・一人一人の幼児の気持ちや考えを理解して受け入れ、幼児が安心して自分を表せるようにする①⑩
- ・相手の思いを感じ取れるように相手の表情や動きに目を向けさせ、相互に伝え合う場を作る⑨
- ・人と触れ合う姿や相手のために動こうとしている姿を具体的な言葉で認め、人と関わる楽しさや喜びが感じられるようにする⑤
- ・新入園児との関わりで気付いたことや困ったことをクラスの中で取り上げ、相手の年齢や思いに沿った関わり方をするように気付かせていく⑤
- ・グループのメンバー構成は一人一人が自分を出しやすいうように配慮する
自分の思いや考えを出しながら一緒に進めていく方法を伝え、共にできた喜びが感じられるようにする③⑤⑨
- ・環境の変化により遊びが見付からない幼児もいるので、一日の中でクラス全体で遊ぶ時間を設定し、クラスとしてのつながりや遊びの楽しさを共感できるようにする①

- ・自分なりにイメージを実現しようとする姿を認め、イメージを受け止めながら一人一人の思いや表現を言葉で表したり、一緒に動いたりする⑩
- ・新しい遊具の遊び方や片付け方が分かるような機会や場を作り、自分たちなりに環境に関わっていく意識を育てる①②
- ・身近な飼育物や植物等に興味・関心をもち、喜んで世話や手入れができるよう保育者自身が対象に丁寧に関わり、幼児にとってのモデルになるようにする⑦
- ・人との関わり場面に応じて、伝えたいことを言葉にできるように一緒に考えたり、言葉を補ったりして、必要な言葉をつかえるように援助する相手の気持ちや思いを想像できるように動き掛けていく⑤⑨
- ・生活や遊びの中で、必要感に基づく体験を大事にし、色、形、数、文字等に興味をもつような環境に配慮する⑧
- ・身近にある自然物の様子を見て関心がもてるように、自然物の絵本、図鑑や虫めがねを用意したり、写真を提示したりする⑥⑦

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・新しい生活の場や遊具に慣れ、自分なりに動いたり使ったりする
- ・手洗い、うがいなど必要に応じて自分からする
- ・新しい環境で身の回りを清潔にし、片付け、整理する
- ・状況に応じて衣服の着脱等をしようとする

地域財産の活用

- ・地域の本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ
- ・地域の祭りに親しむ
桜橋花まつり、浅草流鏑馬、三社祭等
- ・地域の公園に遊びに行ったり図書館に行ったりする
- ・挨拶運動や園行事に参加する
- ・地域の方々に親しみを感ずる

一人一人の生活習慣等の実態を捉えつつ保育者は焦らず指導や援助の定着を図っていく。
年長児になった喜びを共感し、幼児の誇らしい気持ちに寄り添いながら、繰り返し指導を重ね、幼児の生活習慣の定着を図る。

Ⅱ期 (6~9月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体もち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心もち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心もち、自ら考え、豊かに表現する子供 		
期のねらい	生 人 学	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なことを自分から進めたり、いろいろな運動や活動に参加したりする ・自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えを受け止めようとする ・クラスのみなでする遊びを楽しむ中で自分の力を発揮しようとする ・目的をもって遊びを考えたり工夫したりして、自分なりにやり遂げた満足感を味わう 		
<p>≪経験の内容≫ 主な活動例 保育教育資料</p>				
生活	生 人 学	<p>≪季節の変化に合わせた健康管理ができるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいの励行、汗の始末、衣服の調節や着脱、水分や休息の取り方、体調の変化など自分から気付いて保育者に伝えようとする <p>≪毎日の生活の仕方が分かり、自分たちで進めていけるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の傘の始末 ・プール遊びの身支度（水着、着替えるなど手順が分かり自分から行う、脱いだ服を丁寧に畳むなど） <p>≪生活の中で必要なことを、自分たちで互いに言葉掛け合い行っていくように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番活動 ・掃除（雑巾しぼり、雑巾掛け） <p>≪みんなで気持ちよく生活できるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室の整理整頓に気付く（絵本の破損、椅子の片付け方、積木や共有棚の整理など） <p>≪季節ならではの遊びを通して思い切り体を動かせるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール遊び（宝探し・ペットボトルで浮いてみよう！・フープくぐり・流れるプール・ワニ歩き・ホースの水くぐり等） ・水遊び（水鉄砲・魚つり・手作り船・色水）・スライム（片栗粉スライム）・泥粘土遊び・フィンガー・パインティン <p>≪友達とのつながりを感じながら、自分の力を出したり、思い切り体を動かしたりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷鬼・助け鬼・折返しリレー・ドッジボール・ひもとり鬼・バナナ鬼・マット・のぼり棒・雲梯・ケンケンパ・綱引き・的あて・玉入れなど 		
3 人 の か わ り	生 人 学	<p>≪ルールを守ることで遊びの楽しさが増すことを実感し自分の力を発揮できるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラインサッカー、ドッジボール、じゃんけん鬼、リレー、助け鬼、ビリビリボールなど <p>≪自分の気持ちや考えを言葉で伝えたり、相手の考えを聞いたりしながらイメージを共有し遊ぶ楽しさを味わえるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び（おばけやしき・水族館・縁日・お店屋さんなど）・お話作り・合奏 <p>≪グループで取り組む中で、自分の力を発揮できるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な相談が必要な活動（グループじゃんけん・リヒートゲーム・合奏のパート決め・お話作りなど） <p>≪友達と一緒に声を出し合い歌うことを楽しみながら、つながりを感じたり、自分の力を発揮したりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌・イメージの広がりやすい歌（おにじのむこうに おにじ）・追いかけて歌（かえるの合唱 森のくまさん）・合奏（身近な歌として親しんでいる曲） <p>≪小学校・地域の方々、異年齢児と関わり、憧れの気持ちをもったり、思いの伝え方を知ったりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児との交流（縁日ごっこ、共通の体操をする、散歩に行く）・読み聞かせ交流・ボランティア ・職場体験・セフティー教室・祖父母参観・高齢者施設訪問 		
学 び	生 人 学	<p>≪一人一人が十分に試したり工夫したりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作活動（空き箱・ごっこ遊びに必要な物・紙皿フリスビー・動く船作り・人形作り・水車作りなど） <p>≪自分なりに課題を見付け、繰り返し取り組みながら、自分の力を発揮できるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り（大きい見本や分かりやすい手順の掲示）・泥団子作り・鉄棒・なわ跳び・雲梯・登り棒・フラフープ <p>≪水に関わり、自分なりに試したり工夫したりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色水遊び・水路作り・シャボン玉・泡作り・染め紙遊び・空き容器（マヨネーズ・ケチャップ・ペットボトル・牛乳パック等）の水鉄砲やじょうろ作りなど <p>≪自然を遊びに取り入れ、試したり工夫したりできるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日探検（傘をさす、水たまり、雨粒、雨音など） ・虫捕り（虫捕り網、飼育ケース） ・図鑑・新聞やDVDなどの視聴覚教材、宇宙に関する絵本など <p>≪遊びや生活の中で、色、数、形、文字などに興味・関心がもてるように≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が出る木の実や花・葉を使った色水遊び ・砂場遊び（高低差を利用した川） ・夏野菜の収穫 ・遠足、散歩時の道路の標識や看板 ・ごっこ遊びの看板作り ・新聞紙じゃんけんゲーム 		
幼児 教育 共通 カリ キュ ラム で 重 視 す る 内 容	規 範 意 識 の 芽 生 の 育 成	こ こ ろ ざ し 教 育	食 育	体 力 の 向 上
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場でのきまりや行動の仕方を理解しみんなで気持ちよく生活できるようにする ・遊びに必要なルールを友達と考えたり決めたりしながら遊びを進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や仲のよい友達に進んで挨拶をする ・グループの友達で必要なことを伝え合いながら、自分たちで協力して当番活動をする ・児童、生徒、地域の方々との関わり、憧れの気持ちをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培している植物の収穫を喜び友達と一緒に何でも食べてみようとする ・栽培、収穫、味わうこと等を体験し野菜が体の成長にとって大切な食べ物であることを知る ・栽培を通して世話をすることの大変さを実感し、作ってくれた人への感謝の気持ちをもつとともに食べ物大切にしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とのつながりを感じながらリズムカルな動きをしたり、思いきり体を動かしたりして遊ぶ ・いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かして遊ぶ ・自分の目標に向けて挑戦し、できた満足感を味わう

幼児期に育みたい資質・能力
知識及び技能の基礎
思考力・判断力・表現力の基礎
学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

生
人
学

- ・興味をもったことや好きなことを選べる多様な教材や活動
- ・多様な感情体験を味わい、自分を表現しながら、友達との関わりを楽しむ活動
- ・自分なりの課題をもって繰り返し取り組み自分の力を発揮する活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・自分から気付いて衣服の調節や汗の始末、水分補給や休息などができるように保育者自らが自分の動きで示したり、自分から行動している幼児を認めたり、クラスで話を取り上げたりする①⑤⑨
- ・生活に必要なことやグループの活動などを自分たちで気付いてできるように時間に余裕をもち、やり方が分からない幼児には、友達同士で伝え合えられるように言葉を掛けていく②③⑨
- ・保育室や遊具・教材等を共有する意識をもてるように、大切に扱ったり、きれいに整えたりする保育者や友達の様子を見て、気付いたり、必要な時に手伝おうとしたりする姿をその時々で認めていく④⑤
- ・プール遊びや水遊びは、安全面や衛生面に十分配慮しながら一人一人が目的をもって楽しめるようにする
小学校や区内施設の大きなプールを使用する場合は、一人一人の安全意識を確認しながら、指導する①②
- ・プール遊びのゲーム内容を幼児と一緒に考えたり、保育者もゲーム仲間入りしたりしながら全身を使って存分に水に親しめるようにする①⑥⑨
- ・戸外（猛暑やひなた・日陰）、室内（風通しや冷房）等を意識し、安全面への配慮をする
幼児の動線を考え、安全な遊び方に気付けるよう、幼児が場のとり方、ルールを考えたり決めたりできるように言葉を掛けていく①⑦
- ・遊びのルールが分かったり、共通のルールで遊ぶ楽しさを感じたりできるような環境を作る（自分たちで用意し進められるように、取り出しやすい場所に用具を置いておく）②③
- ・友達と意思を出し合ったり、受け入れ合ったりして、遊びを進めていけるよう一人一人の動きや言葉を他の幼児にも具体的に伝えたり、認めたりする
遊びに必要な場や物作りができる材料や用具を用意する②⑨
- ・グループでの活動を意図的に取り入れ、自己発揮しやすい環境を作り、友達と力を合わせることで、できた、楽しかったという思いをもてるようにする③⑨⑩
- ・力を発揮している幼児の姿を認め、周りの幼児にも伝えていくことで自分の力を発揮する喜びを感じられるようにする②⑨
- ・優しく接したり、相手に分かるように表現したり、相手によって対応を変える必要があることに気付かせていく②⑤
- ・一人一人が十分に試したり、工夫したりできるような時間を保障しながら、素材や用具・遊具を準備し、その面白さや扱い方を知らせていく
友達の姿に刺激を受けて、自分なりに繰り返し取り組んだり、教え合いながら作ろうとしたりする姿を認め、より興味・関心がもてるようにしていく②⑥⑩
- ・自分なりに取り組むことができる環境、挑戦できる環境を準備する②⑧
- ・保育者の投げ掛けにより決めた課題に力を発揮していることを、周りの幼児にも分かるよう言葉にして伝えたり、全体で見せる機会を作ったりして、一人一人が自分の力を出して実現していく喜びが感じられるようにする②⑩
- ・いろいろなことを試す中で、自分なりの課題に気付いたり、意識したりできるように、一人一人の興味や関心を捉え、疑問や思いに共感しながら、幼児の実態に合わせて、目的や期待感をもてるような投げ掛けをする②⑥
- ・自然物に関心や興味もてるよう幼児の気付きや行動に共感したり、つぶやきを言葉にしたりして、生態や特徴を知る面白さを感じられるようにする⑥⑦⑩
- ・飼育物や植物に興味・関心をもち、友達と一緒に世話をしているように議題にしたり、状況を知らせたりして働き掛けていく⑦
- ・生活や遊びの中で必要感に基づく体験を大事にし、数・量・形・文字・数字等に興味もてるように環境を整える⑥⑧

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・手洗い、うがいを必要に応じて自分から行う
- ・汗の始末や衣服の調節を自分で行う
- ・水分や休息の取り方に気付き、自分で進んでしようとする
- ・自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える

地域財産の活用

地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ

- ・鳥越祭
- ・四方六千日ほおずき市
- ・隅田川花火大会
- ・入谷朝顔祭り など

生活や遊びの中で、興味をもったことや好きなことに、集中して取り組めるような環境作りを大切にしていこう。
小集団やグループ活動をしながら、所属感もてるような働き掛けをして仲間意識を育てる。

Ⅲ期 (10~12月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体を持ち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに興味を持ち、自ら考え、豊かに表現する子供
----------------	------------------------------	--

期の ねらい	<p>生・生活の流れに見通しをもって、自分たちで生活や遊びを進めていく</p> <p>人・共通の目的に向かって友達とイメージや考えを出し合いながら協同して遊びを進めていく楽しさを味わう</p> <p>学・自分なりの課題に向かって試したり、周囲の人たちの気付きなどを受け入れたりしながら最後まで取り組む</p>
-----------	--

		《経験の内容》	主な活動例	保育教育資料
3 人 の か か わ り	生 活	<p>《見通しをもって、自分たちで生活を進めていくように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日の大まかな流れが分かり、見通しをもって、友達と言葉を掛け合い状況に応じた行動をする(共同で使うものの準備や片付けをする…遊具、用具や身近な機器、教材など) ・朝の会の当番活動として、日、曜日、欠席調べなどをする(カレンダーの活用、カレンダーマーチ) ・グループの友達と役割を分担し助け合って当番活動をする(飼育物の世話や水やり、昼食の準備や後片付け、乳児の午睡手伝い、園舎や園庭見回り隊など) <p>《自分から進んで挨拶をするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達、身近な人々、近隣の人々に挨拶をする(「世界のあいさつ」 あいさつ、みんなともだち) <p>《健康で安全な生活をするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた生活の仕方をする(寒暖の差に応じた衣服の調整、手洗い、うがいなど) ・自分の健康や病気の予防に関心をもつ(薄着に取り組む、体調が悪いときは大人に言う) ・災害時などの安全な行動の仕方が分かる(ビデオ視聴、避難訓練の約束(おかしも)を守る) ・遊具・用具・身近な機器そして教材類などを扱ったり、所定の場所に片付けたり状況に応じて、友達と協力したりして行う。 ・身の回りを整え、清潔にする(週末のロッカー整理、絵本の修理や整理、年末の大掃除などをする) ・交通ルールや公共のマナーなどに気を付けて行動する(信号を守る、図書館では静かにするなど) <p>《伸び伸びと体を動かし、いろいろな運動に興味をもち、自分の目標に向けて挑戦し、達成感や満足感を感じるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と競い合ったり、協力し合ったりして、戸外や室内で運動遊びを楽しむ(マットや巧技台、縄などを使った遊び、リレー、ドッジボール、フラッグボール、サッカー、宝とり鬼、3すくみ鬼、手つなぎ鬼など) 		
	学 び	<p>《友達と目的に向かってイメージを出し合い、一緒に進めていく楽しさや、力を合わせてやり遂げた達成感や充実感を味わうように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、発表会、作品展などでは、友達とイメージを出し合いながら役割分担をして進める(お話し作り、リレーの順番の決め方、共同制作のやり方など、互いに思いを伝え合ってきめる「エルマーシリーズ」パブリカ) <p>《みんなで取り組む中で自分の力を発揮し、互いのよさを認めて折り合いを付けながら気持ちや動きを合わせる楽しさを味わうように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(お芋パーティー、レストラン、お店屋さん、水族館ごっこや、鬼ごっこやボール遊びなどで、グループで相談して進める遊び) <p>《みんなですることが必要なことや苦手なことでも自分から取り組もうとするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのときにすることが分かり、自分から行動しようとする(ルールを守り、グループの一員としての役割を果たす) <p>《異年齢児と関わる中で、人の役に立つことの喜びや頼られるうれしさを感じるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊びながら、遊びを教えてあげたり、園外保育に行ったりする(運動会ごっこでのお父さん、お母さん役、お店ごっこなどでお客さんに優しく接する「てとてとてとて」、「スイミー」) <p>《小学生や地域の人々との関わりを楽しむように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会や学芸会などに参加する(始めるよはじまるよ「プレーメンの音楽隊」) ・就学時健診を受けたり、交流活動で小学生と触れ合って遊んだりする(運動会の応援のやり方を教えてもらったり、体操やダンスなどを一緒にしたりする) ・地域の人々と触れ合い、親しみをもつとともに、自分たちが大切にされていることを感じる(ディサービス訪問、地域の人と遊ぶ会、近隣の施設(郵便局、図書館、児童館や公園等、お茶の会、伝承遊びや昔話を聞く会などでの触れ合い「ぼくのおじいちゃん」茶つぼ おせんべ やけたかな) <p>《自分なりの課題に向かって考えたり試したりするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会に必要な物や考え、意見を出し合いながら、分担したり、協力したりしながら進める(鉄棒、なわ跳び、大なわ跳び、お話し作り、劇遊び) ・工夫して作ったり試したり、友達の気付きを取り入れながら、最後まで取り組む(指編みマフラー作り、雑巾縫い、木の実や木の葉を使った制作…コマやリース作り、投げコマなど「おきなおきなお芋」「オズの魔法つかい」) <p>《文字や量、図形、標識などに興味をもち、取り入れて遊びを楽しむように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しりとり遊び・年賀状・カレンダー作り、さつまいもの収穫(芋の数、大きさ、形、重さなど)、木の実・落ち葉集め、形、大きさ、種類分けなどをする ・街の看板や標識(マンホールの形や記号、模様、郵便局のしるしなど。アアの字がつくから～あいうえおの歌「どんぐり会議」「ひやしんす」) <p>《自分の思いや考え、経験したことなどを伝えるように話したり、友達の話を理解しようとしたり、分からないことを聞いたりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付いたことや考えなどをグループや皆の前で話す(「みんながおしえてくれました」「ともだちや」シリーズ) ・友達の話を聞いて分からないことは、質問したり、一緒に考えて提案したりする ・運動会や生活発表会、作品展などのやり方や役割分担などを相談をする(年長児だからできること、やりたいことを相談する) ・大掃除やお正月を迎える準備や、年下のクラスで困っていることなどを互いに話し合っ進めたり、お助け隊になって出掛けたりする <p>《季節による自然や街の様子の変化に気付き表現したり遊びに取り入れたいように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝顔、風船がすらの種とりや芋ほり、落ち葉や木の実拾いなどする ・自然物を使って造形や遊びに使うものを作る(ポンドを使ってコマやお面、リース作り、じゅずだまをつなげるなど) ・秋から冬にかけての空や雲の様子や台風や木枯らしに興味をもって見たり、感じたりする(秋・冬の気象図鑑・くもの図鑑) ・水栽培や春咲きの球根植えをする(ヒヤシンス、クロッカス、チューリップ、水仙など) ・友達の気付いたことなどから興味・関心を広げ図鑑や絵本、DVDなどを見てお話を作ったり劇遊びなどをしたりする ・暮れの街の様子に興味をもって散歩に行ったり、いつもと違う店の様子などを話し合ったり遊んだりする ・季節の行事に興味をもつ(お正月の準備、年賀状、おせち料理、お正月のあいさつ、鏡もち、七草、鏡開きなど) 		

ラ ム で 重 視 す る 取 組 の 内 容	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう ・きまりを守らないと嫌な思いをしたり、皆に迷惑を掛けたりすることに気付き、守ろうとする ・友達と生活や遊びを進める中で自分の気持ちや考えを出しその上で自分の気持ちに折り合いを付けようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よく挨拶や返事をする ・生活や遊びの中で、人の役に立つたという思いを味わう ・地域の方と喜んで関わり、親しみをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守って友達と一緒に楽しく食事をする ・調理している人に感謝の気持ちをもち残さず食べる ・栽培物の収穫を通して自分で育てた喜びや食べるうれしさを感じる ・季節の行事に参加して行事食を食べることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に興味をもち進んで行う ・友達と競い合ったり協力し合ったりして、戸外や室内で運動遊びを楽しむ ・友達と一緒に体を思い切り動かす心地よさを味わう ・自分の目標に向けて挑戦し自信をもつ

幼児期に育みたい資質・能力
知識及び技能の基礎
思考力・判断力・表現力等の基礎
学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

- 生・周囲や友達の状況を受け止めながら、互いに思いを出し合ったり、体を思いきり動かす心地よさを
感じたりできる活動
- 人・クラスや園全体で取り組む中で、みんなで気持ちを合わせ、やり遂げる楽しさを味わう活動
- 学・身近な事象や友達の活動の様子などから、気付いたことや課題に向けて工夫しながら取り組む活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・一人一人の幼児が、十分活動を楽しめる場や時間の保障とともに、友達との会話や交渉などを通して、つながりを実感できる生活の展開に配慮する②③⑨
- ・生活に見通しがもてるように、生活の流れや活動の内容などを時計の針の表示や図などで知らせていく①⑧
- ・月、日、曜日、時間などを、幼児の目の届きやすいところに表示し、カレンダーや月日の流れなどにも関心をもつように促す⑧
- ・当番活動では、メンバー全員が役割を意識し、互いに助け合い、苦手なことにも取り組んでいる姿を認め励まし、自信や責任感を育てる③④
- ・自分から挨拶することの気持ちよさを実感できるような場や機会を作ったり、日常的に自然に挨拶をする幼児の姿を認めたりしていく②⑤⑨
- ・クラスで話し合う時は、相手の話を最後まで聞き、話が終わってから自分の考えを話すことなど発言の仕方を日常生活を通して知らせていく③⑥⑨
- ・生活や遊びを自信をもって自分たちで進めていこうとする態度を認め、さりげなく見守りながら、課題達成に向けて必要に応じて援助する②③⑥
- ・季節や寒暖の変化、体調などに対応する他児の姿を認めるなど、保育者の意図的なつづがきなどを通して健康で安全な生活への意識を高める①②
- ・避難訓練では、自分の命は自分で守ることが基本であることを意識付けし、年長児としてモデルとなる行動をとるようにしていく①②④
- ・身の回りを整理整頓して、清潔な環境で生活する気持ちよさや、生活のしやすさを感じたりできるように、具体的な幼児の姿から認めて意識を高め、一人一人の幼児に習慣として身に付くように見守り援助していく①②
- ・自分の課題に向かって、繰り返し取り組もうとする姿を十分に認め、励まししながら自信や意欲をもてるようにする②⑥

- ・話し合いでは一人一人のイメージや、みんなで作り上げたイメージなどをまとめながら、自分たちで取り組んだ充実感が味わえるように援助する③⑨
- ・一人一人が頑張っているところや、力を発揮しているところを認め、全体に伝えながら、友達のよさに気付くようにする。②⑥⑨
- ・友達の力を認め合い、つながりを感じながら、自分の力を発揮する楽しさを味わえるような運動遊びの場、遊具、用具の準備と共に、身近なごっこ遊びが充実するように配慮する③⑤⑥
- ・自分たちで進めていこうとする姿を認めながら、一人一人の思いや考えが出せているのか、話の内容や目的が共通になっているのかなどを捉えて援助する②③⑨
- ・遊びの中で状況に応じて、考えたり、気付いて行動したりすることや自分で気持ちを切り替えたり、感情の調整をしたりすることを知らせていく②③⑥
- ・思いや考えを自分の言葉で相手に伝えられるように、言葉を付け足し、確認しながら、幼児の言葉を引き出していく⑨⑩
- ・友達との関わりの中で、善悪の区別や相手の立場に立って考える機会を作り、クラス全体で振り返り、幼児が自分で考えようとする態度を育てていく④⑥
- ・機会ごとに年下の友達に優しく関わる姿を認め、年長児としての自覚や自信を深める②④
- ・小学生に憧れている幼児の思いを伝えたり、小学生の優しさを実感する場を捉えたりして、触れ合い活動が充実するように、教師と保育者が連携をとる④⑤⑨
- ・幼児が身近な公共施設や周囲の人々に関心や親しみをもつように身近な情報を伝え、保護者にも公共施設や町会のイベントなど子育てに役立つ情報を知らせる④⑤

- ・一人一人が自分の課題に向かって繰り返し挑戦する姿を励まし、認める②⑥
- ・一人一人の取組の姿を全体に伝えたり、友達からの励ましなどを伝えたりしながら、クラス全体で粘り強く最後までやり遂げようとする気持ちを育てていく③⑥
- ・自分のしたいことやイメージを表現できるように、グループの相談にのったり、アイデアを提供したりしていく表現することの楽しさやみんなで考え合う楽しさや面白さを言葉や踊り、劇などで表していけるようにしていく③⑨⑩
- ・一人一人の力が合わさって「チーム」の力になることを場面を捉えて伝える機会やゲームの中で作戦タイムの時間を意図的にとったり、互いの動きを見せ合う場や機会を作ったりする③④
- ・文字や言葉、数字や図形などに興味・関心が高まるような環境を作り、身近に触れたり、試したりできるような教材も準備する⑧⑨
- ・生活の中で物の性質や仕組み、文字、数量、記号等を通して友達の考えを聞いたり、認めたりしながら、自分の考えを伝えたり深めたりできるような環境を作る(図書、実際に確かめる場、時間等の配慮)⑥⑧⑨
- ・自分の考えを伝えると同時に、相手の意見を聞くことの大切さも知らせていながら、自分たちで、問題や課題を解決へと進むように援助していく③⑧⑨
- ・自分の考えを素直に表現したり、相手の話をしっかり聞いたりする態度をじっくり時間を掛けて育てていく⑥⑨⑩
- ・気象の変化(台風、寒さ、風の強さ、雲の様子、春咲き球根等)を感じとれるような環境構成に留意しながら、幼児が身近に自然や命の不思議さに関心をもつように配慮する⑥⑦
- ・自分のできることに自信をもって取り組むことや挑戦する姿を認め、幼児同士が認め合い、励まし合う意識や態度を育てる②③⑥
- ・自然の変化や身の回りの社会の様子やニュースなどに興味や関心に向け、探究心をもつように、実体験や人との触れ合いを増やしたり、視聴覚教材などを活用したりしていく④⑤⑩

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・季節に応じた生活の仕方を考え、実行していくようになる
- ・自分の健康や病気の予防等に関心をもち、手洗い・うがい、衣服調整等を行う
- ・自分の体調の変化に気付く、周りの大人に伝える
- ・身の回りを清潔にしたり、整理したりすることができる
- ・自分の思いや考えを相手に伝えるように考えて話す
- ・相手の話を聞く必要性や聞く楽しさが分かる
- ・話(会話・絵本・童話)の内容を理解し、言葉の使い方・楽しさ・美しさに気付く
- ・季節の変化に気付いて、表現したり、自然物を取り入れたりして遊ぶ
- ・自分なりの課題に向かって試したり、工夫したりしながら、最後まで取り組む
- ・工夫して作ったり試したり、友達の気付きを取り入れたりする

地域財産の活用

地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ

- ・八ちま供養
- ・金竜の舞
- ・白鷺の舞
- ・酉の市
- ・歳の市(羽子板市)
- ・除夜の鐘 など

共通の目的に向かい、グループやクラスで取り組み、協力やルールの大切さを実感させる。
責任感や達成感を感じながら集団の一員としてのつながりを自覚する場を設定する。

IV期 (1~3月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	○健やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心もち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心もち、自ら考え、豊かに表現する子供
---------------	------------------------------	--

期の ねらい	生 ・就学への期待もち、自分から周囲の状況を見通しをもって生活を進めていく 人 ・友達のよさを認め合ったりつながりを深めたりしながら、遊びを進めていく 学 ・課題に主体的に取り組み乗り越えた満足感を味わい成長の喜びを感じる
-----------	--

		《経験の内容》	主な活動例	保育教育資料
3 つ の か か わ り の 柱	生活	《修了に向けて活動に見通しをもち意欲的に取り組むように》 ・1月~3月のカレンダーを通して、修了までの行事等を知り生活に見通しをもつ 時計・日程表・カレンダー 1月火水木金土日のうた 1年のうた ・登降園、好きな遊びや課題活動など、大まかな生活時間の流れが分かり行動する ・当番活動では時間を意識しながら互いに分担し合って丁寧に取り組む 飼育物の世話 食事の用意 《自分から気付いて身の回りの注意をするように》 ・交通安全のきまりや約束を守る(横断歩道の渡り方、信号のない道の歩き方、通学路の歩行訓練) ・警察の方から園外での歩行訓練を受ける 《冬を健康に過ごすことに気を付けるように》 ・手洗いやうがい、衣服の調節等を進んで行う 《自分の健康に関心もち、生活習慣として取り組むように》 ・手洗い、うがいの励行、薄着を心掛ける ．自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える 《寒さに負けず自分の課題をもって様々な運動遊びを楽しむように》 ・自分たちでルールを確認したり、新しいルールをみんなで決めたりして遊ぶ (三すくみ鬼、助け鬼、アイスホッケーごっこ、ドッジボール、なわ跳び、凧揚げ、陣取りなど) ・共同の遊具や用具を大切に、安全に使う 段ボールカッター・ボンド・粘着テープ		
	人との かわり	《友達と互いに折り合いを付けながら遊びに取り組むように》 ・集団遊びやごっこ遊びの進め方や役割分担などの話し合い ・友達が困っていることに共感したり、解決に向けて提案したりする 《自分の成長を感じたり、人の役に立つことの喜びを感じたりするように》 ・誕生会の司会や当番活動などを年中児へ引き継ぐ ・修了に向けて年下の友達の喜びそうなこと、役に立つことなどを考えて行動する(お別れ遠足・修了記念のプレゼント・大掃除の手伝い・図書の修繕の手伝い等) ・地域の方をごっこ遊びに招く(遊園地ごっこ・かるた大会・ミニ発表会等) 《自分から進んで挨拶をしたり、相手に応じた行動をとったりするように》 ・あいさつ運動のリーダーになる 年下の友達や乳児、お年寄りへの接し方を考える 《修了に向けて、今までお世話になった周りの人に感謝の気持ちをもつように》 ・入園から修了までを振り返り、自分や友達の成長に気付き、身の回りの人の思いや応援してくれたことを話し合い感謝の気持ちをもつ ・どのように感謝の気持ちを伝えるのかをクラス全体で話し合う		
	学 び	《自分やクラスの課題に向かって、試したり、工夫したりしながら、最後まで取り組むように》 ・投げコマ、なわ跳び、鉄棒、凧揚げ、あみもの、鬼の面づくり、ひな人形作り 《クラスやグループで取り組む活動に自分の力を発揮するように》 ・遊園地ごっこ ．劇場ごっこ ．すごろく作り ．かるた 《就学への期待をもてるように》 ・学校探検、体験給食を通して学校の環境や学校生活の場面に触れる ・学校ごっこ、ランドセル作りなどを通して、入学への期待を高める ・修了式への参加の仕方などを理解し、修了へのうれしさを感じる みんなともだち 1はじめの歩 1世界中のこどもたちが 1おひさまになりたい 《生活や遊びの中で、文字や数字などを読んだり、書いたりする楽しさを感じるように》 ・しりとり、言葉集め、カルタ遊びなどを通して、文字に興味をもち、調べたり、聞いたりしながら書く ・アルバム作り、文集作り、制作物などのまとめをして、自分の名前を丁寧に書く 《自然事象を通して季節の変化を感じられるように》 ・季節の移り変わりを風や空気の冷たさ、日差しの暖かさで実感する ・氷作り ．雪に触れる ．霜柱 ．風 ．星 ・ヒヤシンスの栽培、チューリップの芽、小動物の冬眠など		

ラム 六つ の 取 組 の 取 組 内 容	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> 社会の基本的なきまりを 理解し、自ら守ろうとする 簡単なルールを作り出し、友達と一緒に遊びを発展させる中で、そのルールを守ろうとする よいこと、悪いことに気付き、考えながら行動する 互いに気持ちよく過ごすために、自分の気持ちや行動をコントロールしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 元気に挨拶や返事をする 生活や遊びの中で、人の役に立ったという思いを味わう 1年生になることに喜びや期待をもち自信をもって行動する 自分の成長を感じ、周りの人への感謝の気持ちをもつ 地域の方と喜んで関わり、親しみをもち 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の大切さが分かり、マナーを守って楽しく食事をする 体と食物の関係に関心もち自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちをもつ 季節の行事に参加して行事食を食べることを楽しむ いろいろな食べ物に興味・関心をもち自分が食べている物の名前が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊具や用具を使い十分に体を動かし、集団遊びを楽しむ 自分の目標に向けて挑戦し、自信をもつ 友達と誘い合い、戸外での遊びを楽しむ

幼児期に育みたい資質・能力
知識及び技能の基礎
思考力・判断力・表現力等の基礎
学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

アプローチカリ
キュラムで大切に
したい活動のポイ
ント

- 生**・修了や就学に向けて、クラスで集まり落ち着いて取り組む活動
人・互いに思いを伝え合い認め合い友達とのつながりを感じられる活動
学・共通の目的や課題に向かってやり遂げた喜びを味わう活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・小学校入学までの行事、活動を幼児と共にカレンダーに書き、見通しがもてるようにする②⑥⑧
- ・修了、入学に向け一人一人の生活習慣の自立や安全に対する意識の育ちなどを確認し、身に付いている点を大いに認め、幼児の自信につなげる①②
- ・早起き、食事、整理整頓など、修了までに身に付けて欲しい点について、幼児から引き出しながら、望ましい習慣や態度への意識を高めていく①②
- ・模擬的な交通標識や信号等を用いて園内で安全指導を行う⑥⑧
- ・メディアの情報を幼児にも理解できる範囲で取り込み、幼児なりに冬季の健康への関心を高められるようにする①⑦
- ・修了までの日数への関心を高め、元気に通園できるように幼児なりに気持ちを向けられるようにする①②
- ・修了までの日数を確認し合い、楽しかったこと、面白かったこと、頑張ったことなどを振り返り、充実感を共有する
特に楽しかったことをみんなで再現して遊べる時間を保障し、楽しさへの共感を深め、園生活の充実感につなげていく①③⑨⑩
- ・自分たちで遊びを作る楽しさや充実感が味わえるように、自分の思いや考えを出し合ったり、受け入れ合ったり、認め合ったりして遊びを進めていけるようにする①③⑤
- ・互いに意見を出し合いながら、相手の考えのいいところ、工夫しているところに気付くようにする⑥⑨
- ・幼児同士で十分に思いや考えを出し合う機会を保障し、やり取りの中で状況を判断し、自己コントロールできるような場を設けて、そのような姿を十分に認めていく③⑥⑨
- ・クラスの目的に向かってグループで取り組む中で、自分の役割を理解して、友達との考えを行き交わしながら進める。取り組んだことが形になっていくことを喜び合えるようにする③⑨⑩
- ・具体的な出来事を思い出す中で、自分の成長を実感できるようにする
クラスの友達と思いを共有しながら、友達の成長について共に喜び合えるような場をつくっていく①⑤⑨
- ・園生活を振り返る中で、様々な人たちにお世話になったことへの気付きを引き出し、感謝の気持ちをもてるようにする⑤
- ・地域の方々にも目を向けられるようにして、高齢者をはじめ、様々な立場で活動している人々とのつながりを感じていけるようにする⑤⑨
- ・一人一人の幼児の気付いたことや、思い、感動などをしっかり受容し、全体に返したり、広めたりしながら、幼児が自信をもって行動できるように働き掛ける②⑥⑩
- ・自分なりに考えたり、試したり、挑戦したりすることで繰り返し楽しめる材料や場を用意するとともに取り組める時間を保障する⑥
- ・表現しようと思うものの実現に向けて、様々な材料、用具を自由に扱える環境を用意する③⑥⑩
- ・こま回し、なわ跳びなど、進歩の状況を捉えてみんなで見合う場を設けて相互に認め合えるようにする①②
- ・じっくり試したり、繰り返し取り組んだりする時間や場の設定に配慮し、様々な事象への興味を高めていく機会を生み出していく⑥⑨⑦
- ・この時期ならではの自然事象に触れたり、不思議を感じたりして、進んで関わろうとする姿を引き出していく⑥⑩
- ・遊びや生活の中で、文字への興味が高まるような環境を用意して親しんだり、取り組んだりできるようにする⑥⑧
- ・飼育物、栽培物などの引継ぎを通して、取り組んできたことを相手に分かりやすく伝えるために順序立てて話したり、視覚的なものを活用したりする方法を身に付けていけるようにする⑥⑧⑨

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・自分の思いや考えが相手に伝わるように考えて話す
- ・相手の話を聞く必要性や楽しさを感じる
- ・話（会話・絵本・童話）の内容を理解し、言葉の遣い方・楽しさ・美しさに気付く
- ・友達と共通の目的をもち、感じたことや考えを言葉で伝え、受け止め合いながら遊ぶ楽しさを味わう
- ・自分なりの課題に向かって、あきらめずに取り組みやり遂げた喜びを味わう
- ・動植物の変化に気付いたり、自然事象に興味・関心をもって、触れたり試したりする中で、美しさ、不思議さなどに気付き関心を深める

地域財産の活用

- 地域の文化や芸術に触れ、
本物を知る経験を通して地域
への誇りや愛着をもつ
- ・七福神めぐり
 - ・豆まきの会
 - ・針供養
 - ・江戸流しびな
 - ・金竜の舞 など

幼児が自分の力を発揮できる活動を精選していく。取組の中で、幼児のよいところ、得意な点を捉え、幼児同士認め合えるようにする。周囲から認められる経験により、幼児は自分への信頼感を高め、「小学校」という未知の世界への期待感を膨らませることができる。